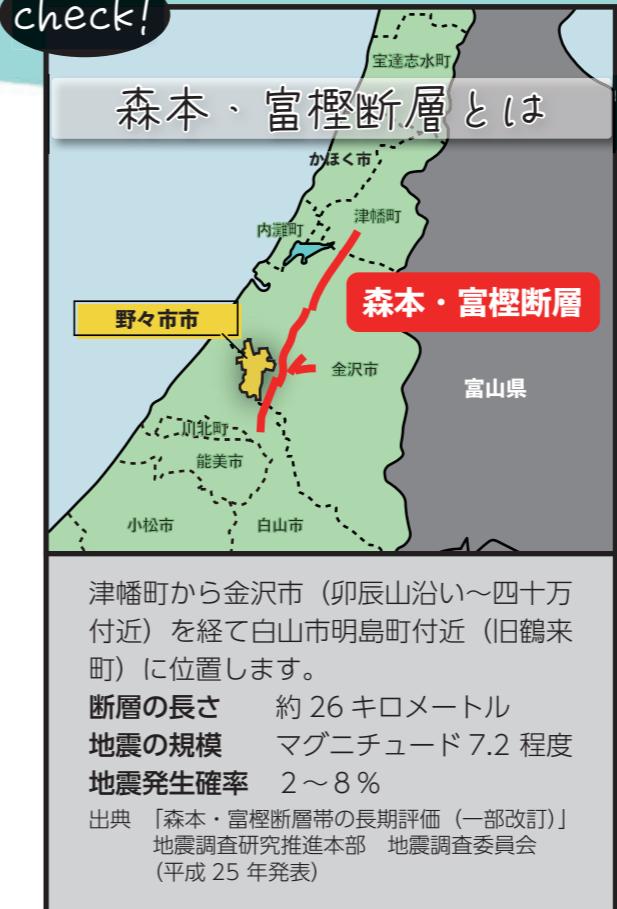


防災力は想像力

→市立野々市で震度6強の地震が起きた！



check!



野々市市の東側には、森本・富樫断層と呼ばれる断層があります。この断層を震源とする地震が起ること、市内で震度6強を記録する恐れがあり、想定避難者数は2500人以上ります。30年以内の地震発生確率(平成25年評価)は2～8%です。

それでも、2～8%もある」と思いましたか。これは、国内の主な活断層の中では発生確率が高いです。

ループに属しています。また、今後の発生確率が高いとされる南海トラフ地震では、太平洋側を中心に東海・関西・中国四国地方などの大規模な揺れが予想されています。野々市市でも大きな揺れが観測されると考えられており、私たちにとつても決して他人事ではありません。いつかくる「もしも」の時を想像し、今、備えを始めませんか。



Q2

エレベータ搭乗中に地震が発生！ まずはどうする？

- A. 非常ボタンを押す
- B. 地上に出るため1階を押す
- C. 最寄り階を押す
- D. 全部の階を押す



Q1

家でくつろいでいると緊急地震速報が！ 最初にすべきことは？

- A. 急いで屋外に逃げる
- B. 机の下や物がない場所で身を守る
- C. 電気のブレーカーを落とす
- D. 火を消してガスの元栓を閉める



Q3

自動車の運転中に大きな揺れを感じた！ 最初にすべきことは？

- A. エンジンを切って身を守る
- B. キーを車内に置いて車から降りる
- C. 道路の左側に停止し情報収集
- D. 運転して急いで自宅に帰る



回答欄

| Q1 | Q2 | Q3 |
|----|----|----|
| | | |

回答が決まったら
次のページへGO！



命を守る5つのポイント

1. 家族と話し合おう！

災害発生時のそれぞれの行動や集合場所、連絡方法などを共有しましょう。また、連絡手段(災害用伝言ダイヤル、通信各社の災害用伝言板、SNSなど)の使い方も事前に確認しておきましょう。



3. 家具の転倒から身を守る

地震が起きると、家具が襲ってきたり倒れた家具がドアをぶさいだりする恐れがあります。転倒防止器具でしっかりと固定しましょう。

■ポイント！
転倒防止は「ネジ止め」が基本！
賃貸住宅などで難しい場合は、
突っ張り棒とストップバー、粘着マットなどを併用しましょう



2. 災害備蓄品を準備



- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| □食事(水・非常用食品) | □衛生用品(ティッシュ・ビニール袋・歯ブラシ・マスク) |
| □懐中電灯 | □防寒(タオル・衣類) |
| □携帯ラジオ | 必要に応じて備蓄 |
| □現金・通帳・ハンコ | □介護用品 |
| □バッテリー類(モバイルバッテリー・電池) | □生理用品 |
| □医薬品(常備薬・救急用品) | □ベビー用品 |
| | □軍手 |
| | など |

4. 建物倒壊を防ぐ

過去の地震を見ると、建物倒壊による被害は昭和56年5月以前の住まい(旧耐震基準の住宅)に多く生じています。ぜひ、耐震改修を検討してください。



耐震改修の補助金▶



5. 地震だ！避難先は？

大地震が発生し、建物内に留まることが危険な状態になった場合は、落ち着いて避難する必要があります。自分の住む地域の一時的避難場所や拠点避難所などを確認しておきましょう。

避難所の確認▶



A1

B. 机の下や物がない場所で身を守る

緊急地震速報の発表から大きな揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くとも数十秒程度しかありません。まずは家具や物、窓ガラスなどから身を守れる安全な場所に移動することが大切です。ガスの火は、ほとんどの家庭に大きな揺れを察知した際の自動停止機能がありますので、急いで「D. 火を消してガスの元栓を閉める」必要はありません。揺れが収まつてから閉めましょう。

また、自宅を留守にして避難する際には、停電復旧時の火災などを防ぐため「C. 電気のブレーカーを落とす」のを忘れずに。



A2

D. 全部の階を押す



エレベーターの多くには、一定以上の揺れを感じると最寄り階で自動停止する機能が付いています。しかし、いち早くエレベーターから降りるために「D. 全部の階を押す」ことを行い、最初に止まった階でエレベーターを降りるようにすればより安全です。

万が一強い揺れによりエレベーターに閉じ込められた場合は、備え付けの「A. 非常ボタンを押す」ことで外部の管理室や保守点検業者と連絡が取れます。無理に扉をこじ開けたりせず、落ち着いて助けを呼びましょう。

A3

C. 道路の左側に停止し情報収集

まずは、「スピードを落としできるだけ安全に道路の左側に車を寄せ、ハザードランプを点灯させて停車しましょう。揺れが収まつたら、車載のラジオやテレビなどで情報収集をします。

車を置いて避難する場合は、エンジンを切ってロックをせずに「B. キーを車内に置いて車から降りる」ことで、緊急車両などの通行の妨げになった場合に他の人が車を動かすことができます。

引き続き運転する場合は、道路状況や信号の作動状況、道路上の障害物などに注意しなければなりません。



何問正解できたかな？ 命を守るためにには、地震が起きたときにどんな行動をすると良いのか考えておくことがとっても大切だよ～

4ページの「命を守る5つのポイント」も読んで、今できる対策にもしっかりと取り組んでいこう！

